



新型コロナウイルス対応

中国から始まった新型コロナウイルスが、短期間に圧倒的な勢いで世界中に拡大し、昨日、世界保健機構 (WHO) は、「パンデミック」を宣言しました。

福岡県では、3名の感染者が出ましたが、その後、感染者が拡大せず、マスク着用者が増えた程度ですから、ニュースで報道されているほど恐ろしくないのではないかと勘違いしそうです。

しかし、世間では、ご存じのように、ほとんどの大学が卒業式中止しました。プロ野球やJリーグは延期となりましたが、球児憧れの選抜高校野球については中止されることになりました。大勢の人が集まる公演やコンサートも中止されています。あまり、神経質になってはいけません、目に見えない脅威ですから甘く見ずに、慎重に行動しなければいけません。

学園でも、2月末から何回となく危機管理対策会議が開かれ、各所属の3月から4月にかけての行事について、情報交換と今後の取り組みについて話し合いが行われています。そこで、国や県、市の通達を遵守し学園としても、幼児・生徒・学生の安全確保を第一に考え、極力、大勢が集まる行事は中止するように指導がありました。

本学園の高校は、2日から休校措置が取られ、卒業式は、時間を大幅短縮し簡略化して実施されました。

大学の場合は、幼稚園や高校と比べて、集団の規模が違いますから、やむなく中止が打ち出されました。

市内の118の幼稚園の対処の仕方は、園任せで、休園、自主登園、通常保育と見事に3分の1ずつに分かれています。本園は、休園にした場合、預ける先がなくて困られるご家庭が多いことを考慮して、当初から通常通りの保育を考えていました。そして、普段よりも、積極的に外遊びを推奨し、全学級、園庭で、鬼ごっこやボール運動に汗を流しています。何とか、今年度の給食も11日に無事に終えることができ、来週の卒園式や修園式を迎えるところまで来ました。

卒園式は国や県、学園の方針に従い、これまでとは若干異なり、時間短縮のために簡略化して実施することをご了承いただきたいと思ひます。

コロナウイルスに負けずに響き合え

2月28日(金)に年長さんのミニコンサートが実施されました。例年と異なり、保護者の方の参観が学級毎ということで、他の学級の子どもたちの様子をお見せできませんでしたが、これも、感染症拡大防止の一環ということで、ご理解いただければ幸いです。私は、生憎、学園の危機管理対策会議に出席しなければならなかったため、全クラス分を聴くことができず、とても残念でした。参観した先生から、素晴らしい出来栄であったという報告を聞いて、さすが、年長さんと思ひました。

尤も、年長さんが、毎日、遊戯室で練習している姿を見ていましたから、年長さんが、演奏や合唱を楽しんでいる光景が容易に想像できました。

特に、鍵盤ハーモニカは、日に日に上達していくのが分かり、一人ひとり、上手に演奏できたことでしょう。保護者の皆さんは、初めての楽器に、何時、どんな楽器に出会いましたか? 6歳の時に、あんなに上手に弾けましたか? 鍵盤ハーモニカは、息継ぎがとても難しいのに、年長さんは、うまく、息継ぎしていましたから、どのクラスも最後まで演奏できたことと思ひます。

また、器楽演奏では、どのクラスも太鼓を受け持った友達が、先生の指揮に合わせて、上手に叩いていましたから、リズムに乗った気持ちの良い演奏ができていました。皆さんも、つい、手拍子を打ちたい気分になったのではありませんか。シャッター切るのに忙しくて、手拍子どころではなかったかも。

そして、各学級の歌も、みんな大きく口を開けて、元気な声で、歌っていました。通常、歌声は、歌う声ですから、話し声とは違います。単に、話し声の出し方で、大きな口を開けて歌えばよいかというところではありません。腹式呼吸で、頭から抜けるような歌い方の頭声的発声で歌うと、ウィーン少年少女合唱団のような天使の歌声に近くなるのですが、幼稚園の子どもたちには、とても難しいので、兎に角、口を大きく開けて、遊戯室の後ろまで聞こえるように、元気よく歌えると良しとしています。年長さんの中には、体を少し揺すりながらリズムに合わせて楽しそうに歌っているのを見ると、歌っていいなあと思ひます。

